

# 善徳

七三四一〇〇〇四  
広島市南区宇品神田四一十一八  
電話 〇八二二五一一六〇二九  
善徳寺

## 住職継承

### 奉告法要

四月廿日でお伝えしたように、本年十月三十日(日)、住職継承奉告法要を開催いたします。

住職が代替わりするとき勤める、特別な法要です。二年前に亡くなった前任職が住職継承奉告法要を行ったのは、昭和六〇年のことでした。当時の写真を見ると、懐



かしい顔ぶれの婦人会役員さん

の笑顔があります。もうお浄土に参られた方も多いのですが、今の婦人会の役員さんのお母さんやお姑さんの姿もあります。

如来さまのお手伝いを、当時も、そして今現在も、お浄土からして下さっているのだなあと思います。

浄土真宗は、願ったり、祈ったりする宗教ではありません。拝むじゃないかと思われるかもしれませんが、仏さまにお願いする姿ではないのです。

最近、統一教会が問題になっています。安部首相を撃つた犯人の母親が、経済破綻するほど統一教会に献金して、それを恨みに思った息子が事件を起こしてしまいました。それでもまだ眼が覚めない

らしい母親に対して、不思議な気持ちで湧いてきます。もともと、身辺に悪いことが起こったから統一教会で、神さまにお願いして、救われたかったのでしょうか。

それが、全く救われてないどころか、大切な息子の身を破滅させています。オウム事件の時もそうでした。オウムに入る前は頭

がよくて、優しい人物だった人が、人を殺すような犯罪者になってしまう。オウムに入った動機も、想像するに、もっと自分を高めたいという真面目なものであったと思います。それがいつの間にか悪の手先になる。

人間の心とは、本当に不確かな、怖いものだと思います。そして、そういう他人の心をあやつって、自分の欲望を満足させようという人がいるのです。

親鸞聖人は、人間とはそういう不確かな存在である

と見抜き、自分のことも「ころは蛇蝎のごとくなり」と深く反省し、悲しんでおられます。そういう正しい見方をする

ことができるのが、浄土真宗の素晴らしいところだと思います。

祈ったら願いが叶うというような、まやかしの甘言を言わず、あるがままの自分を受け入れることのできる教えです。

八〇〇年伝えられてきたこの教えを、また次世代に伝えることができるように、この度は皆様のご協力を、どうぞよろしくお願い致します。

## お知らせ

八月六日に開催を予定していた

浄覺院釋義信 友國 義信 三回忌

### 法事説教は、中止します

尚、八月五日(金)午後一時よりのおみかきは予定通り行います。

お手すきの方はお手伝い下さい。

## 善徳寺行事案内

常朝時

毎朝七時から八時まで

正信偈勤行と和讃繰り読み

経典解説

現在「釈尊の教えとその展開」

中国・日本篇解説中

少し早い夏休みに入りました

二十五日から再開します



親鸞聖人ご誕生八五〇年  
立教開宗八〇〇年  
この日の消息

来る二〇二三年には、宗祖親鸞聖人のご誕生八五〇年、また、その翌年には立教開宗八〇〇年にあたる記念すべき年をお迎えするにあたり、二〇二三年に慶讃法要をお勤めいたします。

親鸞聖人は承安三年・一七三年にご誕生となり、御年九才で出家得度され、比叡山で修業を重ねられました。二九歳の折、山を下りて法然聖人のお弟子となられ、阿弥陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって、越後にご流罪になられ、赦免の後、関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられるとともに、『教行信証』の執筆にとりかかられました。他力念仏のみ教えがまとめられた本書は浄土正宗の根本聖典という意味で「本典」と呼ばれています。そして、その「本典」の記述によって、その成立を親鸞聖人

五二才の時、すなわち元仁元年・一二二四年とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

仏教は今から約二五〇〇年前、釈尊が縁起や諸行無常諸法無我というこの世界のありのままの真実をさとられたことに始まります。翻って私たちは、この執われないさとりと真実に気づくことができず、常に自分中心の心で物事を見て、悩み、悲しみ、あるいは他人と争ったりしています。釈尊は、このような私たちをそのままに救い、おさとの真実へ導こうと願われたのが阿弥陀如来であることとを教えてくださいました。

そして、親鸞聖人は、この阿弥陀如来の願いが、南無阿弥陀仏のお念仏となつてはたらき続けてくださっていることを明らかにされたのです。

ありのままの真実に基づく阿弥陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にそそれが

自己中心的な考え方しかできない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。その広大な慈悲を思うとき、親鸞聖人が「恥ずべし傷むべし」とおっしゃったように、阿弥陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。しかし、この慚愧の思いは、阿弥陀如来の悲しみを少しでも軽くすることができればという方向に私たちを動かすでしょう。

それは、阿弥陀如来の願いを一人でも多くの人に伝え、他人の喜び悲しみを自らの喜び悲しみとするような如来のお心にかなう生き方であり、また、世の安穩、仏法弘通を願われた親鸞聖人のお心に沿う生活です。み教えに生かされ、いよいよお念仏を喜び、すべてのいのちがあるものが、お互いに心を通い合わせて生きていけるような社会の実現

に向け、宗門総合振興計画の取り組みを勧めながら、来るべき親鸞聖人ご誕生八五〇年ならびに立教開宗八〇〇年の慶讃法要をともにお迎えいたしましよ。

龍谷門主 釋 專如

### 募集

広陵東組 本山法要参加者を募集しています。

◎日帰りコース  
令和五年四月二日(日)  
広島駅六時四十四分発のぞみ  
一本山法要参加―京都国立博物館「親鸞 生涯と名宝」―  
広島駅着一八時五二分

◎一泊コース  
四月二七日(木)～二八日(金)  
京都国立博物館 親鸞展―  
本山法要参加―大阪市内宿泊  
本願寺堺別院―さかい利晶の杜(仁徳天皇陵)―空中庭園展望台  
チラシ・申込書はお寺まで

**敬 弔**  
お浄土に参られた方を謹んでお知らせ致します

四月十六日寂 大芝一丁目  
保里 都様 行年八十二才  
六月十八日寂 神田五丁目  
久保田節江様 行年八十八才

六月二十日寂 東三丁目  
丸尾宮子様 行年九十八才  
七月三日寂 海岸二丁目  
久保典子様 行年七十二才  
七月二三日寂 東五丁目  
那須勇様 行年八十才

◎お詫び  
四月にお知らせした故人のお名前お二人に間違いがありました。

正 一月十四日寂 堀 義昭様 (誤 義明様)  
正 四月十四日寂 大野秀雄様 (誤 秀夫様)  
謹んでお詫びし、訂正させていただきます。

〒 七三四―〇〇〇四  
広島市南区宇品神田四丁目十一―八  
宗教法人 善徳寺

「善徳」年七回発行  
「護持会員には毎回配布  
ホームページ「宇品善徳寺」